



令和五年 謹賀新年



後援会
会長 島崎 妙子

品川総合福祉センター 後援会ニュース

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
品川総合福祉センター関係、地域の皆様、ご利用者の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。

本年は品川総合福祉センター設立四十周年を迎えます。当時、東京都内には障害のある子の入所施設がなく、「親亡き後の施設を区内に建ててほしい」という障害児者を持つ親の会三団体で品川区に請願しておりました。

そして都内で初めての障害者と高齢者複合施設を品川区が建設してくれたのです。

障害者の入所施設はまだまだ遠方が多く、区内にあることは親にとって何よりも有難く

感謝しております。

本年も、会員の皆様、高齢者・障害者、ご利用者の方々がお健やかに日々を過ごされますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「心のつながり 地域とともに2022」を 後援しました

昨年十月二十三日(日)「心のつながり地域とともに2022」が、センター本部駐車場で開催されました。

コロナ禍、例年行っていた「しなふく紅葉フェスタ」が開催できない中、令和三年度よりももう一步、地域区民の皆様のために何かできないかと企画されました。今年度の企画は、令和五年度に四十年を迎えるセンターへの要望やメッセージを記入した先着二百名の来場者に、新鮮な野菜や果物の詰め合わせをプレゼントするとい

うもの。障害施設手作り作品販売やヨーヨー釣りのコーナーも設けられました。

仮装した企業ボランティアのご協力



後援会からお菓子の詰め合わせをプレゼント
(施設利用者にも配布し、喜ばれました)

第35号
発行
品川総合福祉センター
後援会事務局
東京都品川区八潮
5-1-1



サンかもめの作品の前に鏡餅。
八潮南のご利用者の書「迎春」もそろう、
豪華に年神様をお迎えしました

恒例の正月飾りを品川総合福祉センターの各施設へ寄贈しました。

門松は入所施設、玉飾りは全施設へ寄贈しました。今では、施設も増え、門松・玉飾り・鏡餅など新しい年を迎えるため

正月飾りを 寄贈しました

をいただき、久しぶりに
駐車が賑わいました。

後援会からは、後援会のボランティアが身に着けるためのビブスを新規制作し、またお菓子の詰め合わせを地域の子どもとセンター利用者へ贈りました。今後も後援会としての支援を継続していきたいと思っておりますのでご理解ご協力をお願いいたします。



後援会のビブスも大活躍！今後も大いに活用できそうですね！

の準備も後援会の支援で成り立っています。今年の本部正面の正月飾りは、ご利用者の想いのこもった傑作作品が鏡餅の周りに配置され、より豪華に年神様をお迎えしました。お正月の生け花と「新春来福」の書は八潮南グループホームのご利用者の作品。サンかもめの壁画・本部園芸サークル(かえで荘・かもめ園)の作品です。



八潮南特別養護老人
ホームの玄関にも

募金箱設置のお願い

品川総合福祉センター後援会の募金箱を設置していただける店舗や施設等を募集しています。地域福祉の推進の一環として皆様のご協力をお願いいたします。

事務局よりお知らせ

令和五年一月分より、会費や寄付金のお振込みについては、お手元にある「振替振込請求書兼受領証」をもって領収書の発行に代えさせていただきます。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

編集後記

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。

今年は、癸卯年(みずのと)、「発展へ」とつながってゆく年。法人四十周年、共に更なる向上を目指して参ります。

後援会事務局(地域福祉課)